

シリーズ  
変圧器で省エネ!

省エネで選ぶなら!



# 変圧器は、日立のアモルファス!

第23回

アモルファス変圧器  
G8サミットで貢献

7月7日~9日 北海道洞爺湖にてG8主要国首脳会議が開催されました。その関連施設に納入された、アモルファス変圧器についてレポートします。



環境問題が主要テーマの一つに挙げられた今回のサミットは、テレビ、新聞などで大々的に取り上げられていたので、皆さんもご存知ですよ。

関連施設では、太陽光パネル、壁面緑化、雪冷房、道産間伐材仕様などが採用され、施設の建設にあたっては、建材、工法、使用機器等について可能な限り3R(Reduce, Reuse, Recycle)等環境への配慮がされていました。



その中でアモルファス変圧器が採用されました。トップランナー変圧器に比べ最大44%の損失低減をはかるラインナップを持ち、無負荷損失(待機電力)を約1/3低減します。CO<sub>2</sub>排出量も大幅に削減できるので、今サミットの主旨にピッタリの製品なのです。

## 二酸化炭素排出量を大幅に削減

サミット関連施設では日立産機システムの技術がひとつ役割を果たしたわけですね。

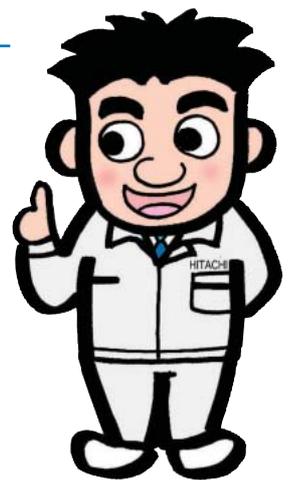
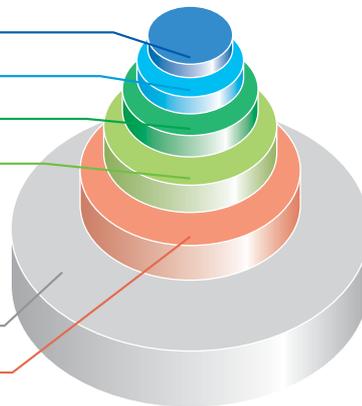


油入タイプ

- アモルファスSPシリーズ -7.0t/年
- アモルファスSシリーズ -5.3t/年
- アモルファスCシリーズ -1.6t/年
- Superトップランナー

30年前の変圧器 +16.9t/年

トップランナー基準値  
(CO<sub>2</sub>排出量 16t/年)



### CO<sub>2</sub>の削減量 (t/年):

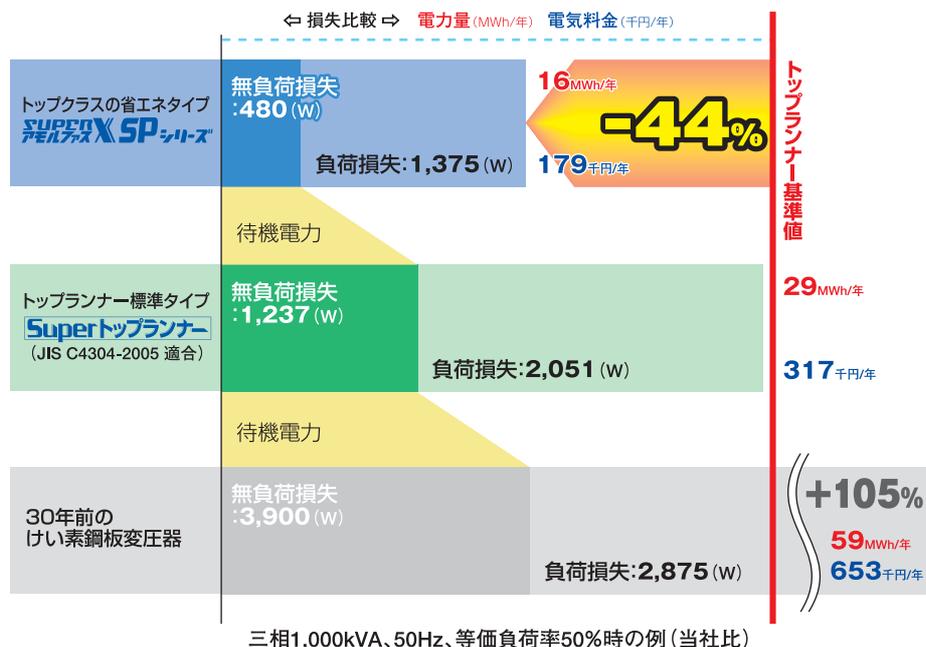
一般電気事業者の排出係数 0.555 [kg-CO<sub>2</sub>/kWh]により算出。  
(平成18年3月4日公布「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」より引用)

お問い合わせ先

株式会社 日立産機システム 受配電・環境システム事業部 企画部 板谷越 勝久  
E-mail sanki-haiden@hitachi-ies.co.jp



変圧器は夜間稼働していないときでも働き続けています。その無負荷損失(待機電力)を低減することができれば省エネ、CO<sub>2</sub>削減につながるわけです。アモルファス変圧器はこの無負荷損失が極めて低いので、大きな省エネ効果が期待できます。

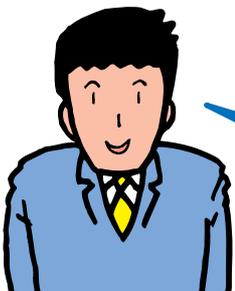


一度設置すれば無駄な電力が失われることなく働き続けるのですね。長い期間をみて、実際の負荷にあった設備投資を考えてみる必要がありますね。

## 環境総合展2008

サミットに先駆けて6月19日~21日「環境総合展2008」が札幌ドームにて開催されました。本展示会はG8サミットにおいて環境問題が主要テーマの一つに挙げられていることから、サミット記念イベントとして開催されたものです。

日立グループは最新の環境技術や環境製品を通してさまざまな環境への取り組みを紹介しました。当社からはアモルファス変圧器の実機を展示し、CO<sub>2</sub>削減に期待できる製品としてご紹介いたしました。



これからますます、環境に配慮したアモルファス変圧器で、地球温暖化防止に貢献できるといいですね